



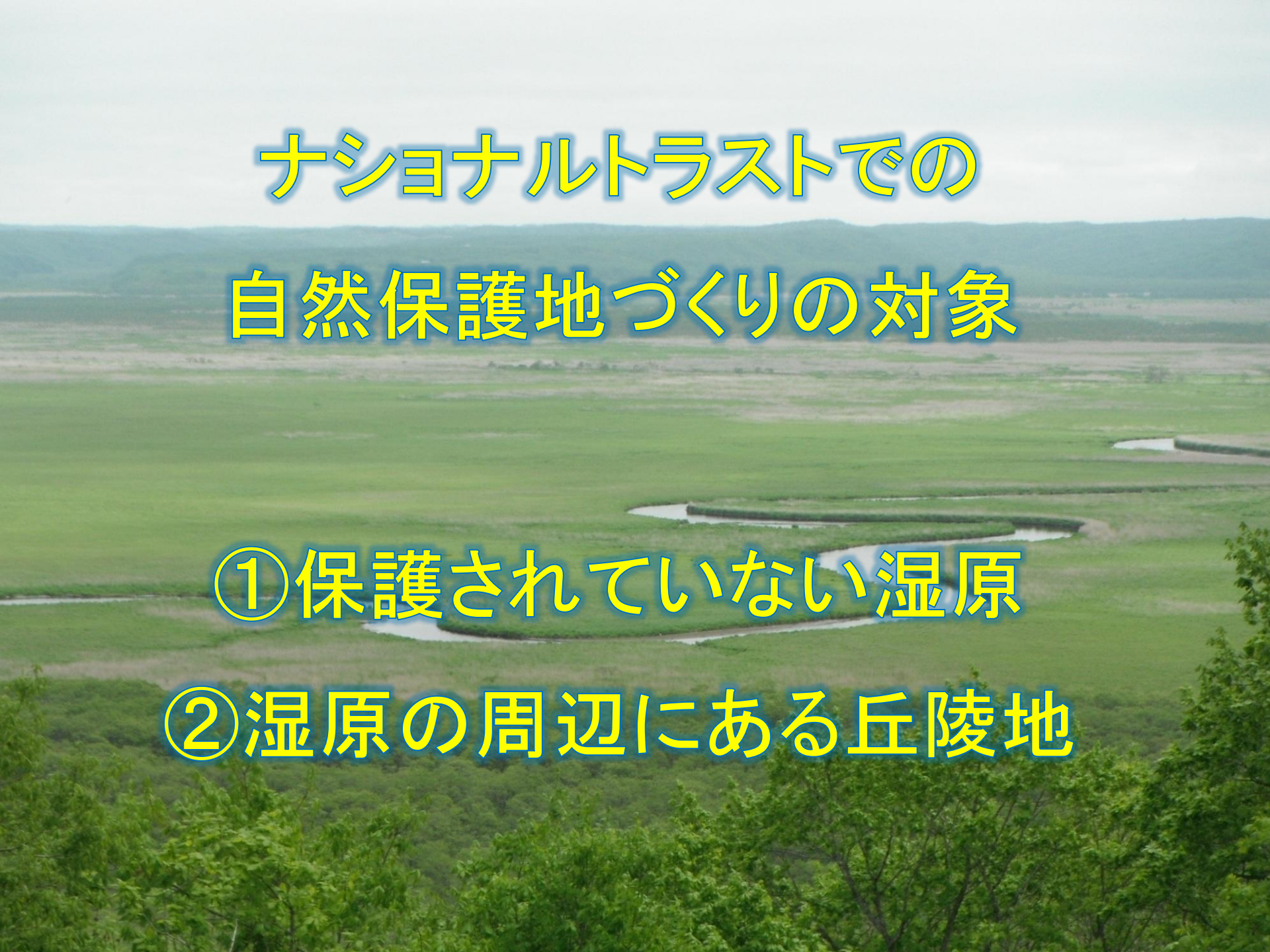
ナショナルトラストによる

釧路湿原の保全

釧路湿原のナショナルトラストを進める

NPO法人トラストサルン釧路

黒澤 信道

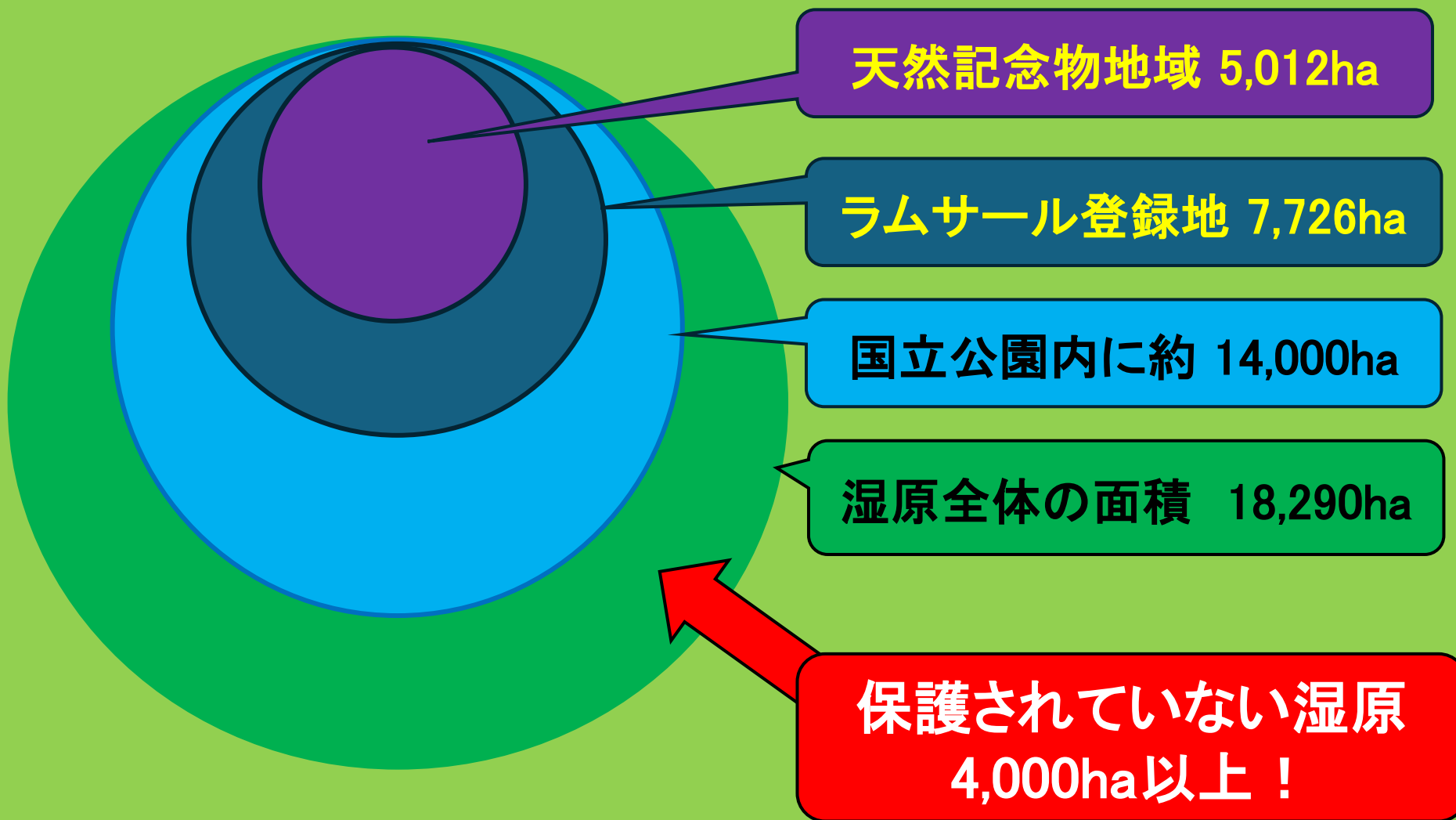


ナショナルトラストでの 自然保護地づくりの対象

①保護されていない湿原

②湿原の周辺にある丘陵地

釧路湿原の法的保護は十分か？





トラストサルン釧路の所有する
やちぼうず保護地(釧路市北斗0.9ha)

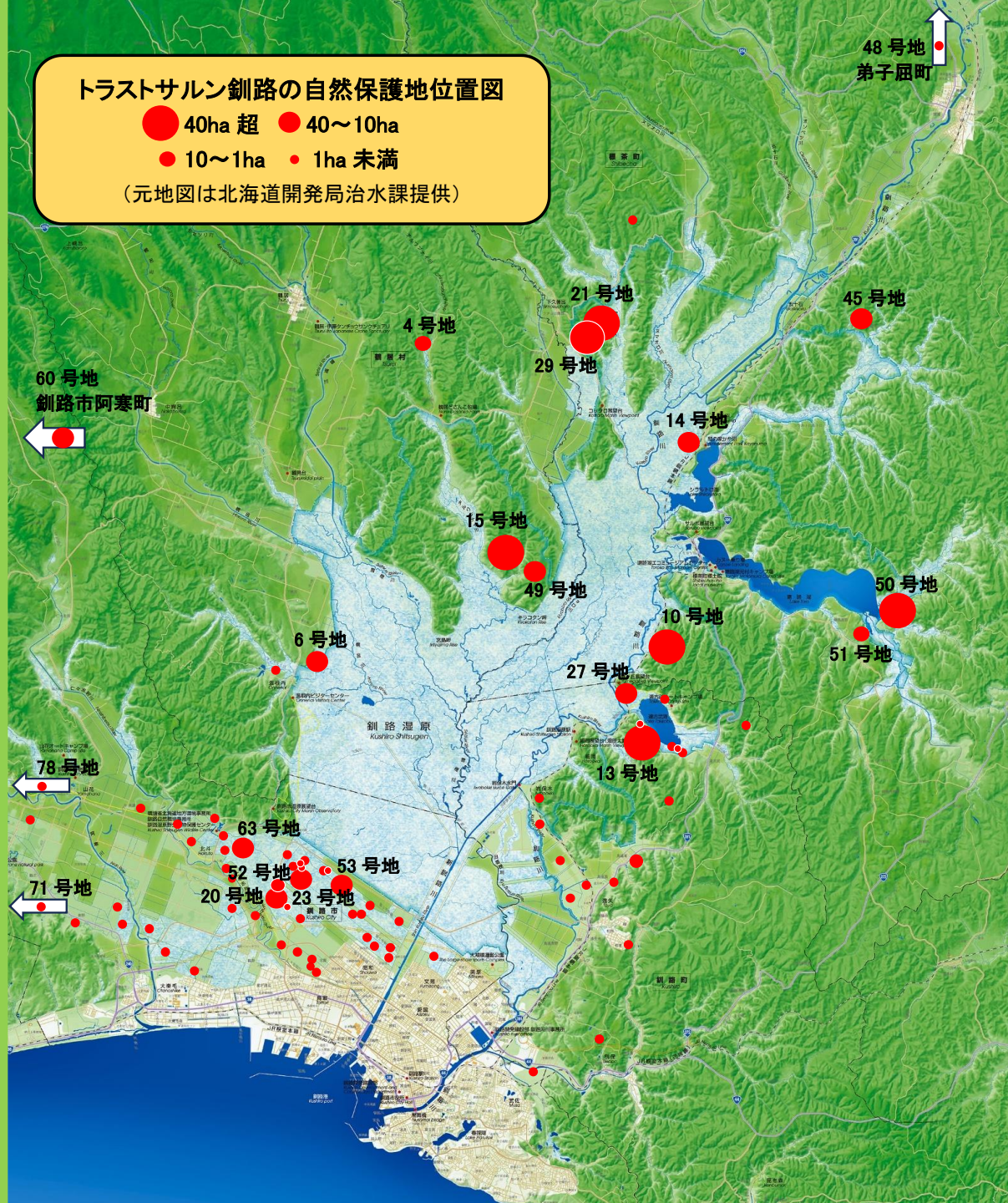


キタサンショウウオ保護地
(釧路市北園15.5ha)

トラストサルン釧路の自然保護地位置図

- 40ha 超 ● 40～10ha
- 10～1ha ● 1ha 未満

(元地図は北海道開発局治水課提供)



この38年間で...

- ・会員数は、国内国外を含めて212名
- ・土地取得のための募金は、延べで3,800件超
- ・保護地は112カ所、合計724ヘクタール

湿原に接する山林にある
「水源林保護地」標茶町203ha



しかし、釧路湿原が、今...



釧路湿原が狙われている理由

- ・ 広くて平坦、造成工事が容易
- ・ 使い道がないので土地が安い
- ・ 地元の財産という意識が薄く、外部企業からの投機に抵抗がない

地元の方の言葉

「何にも役に立たない土地には

太陽光パネルを建てたら良い」



ソーラー事業者の言葉

「二酸化炭素削減は国の取り組み。

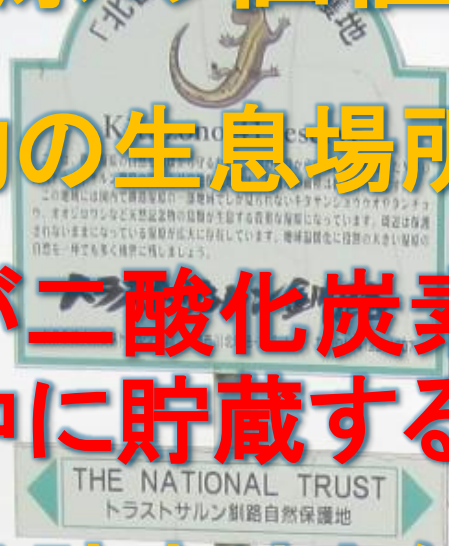
私たちは良いことをしている」

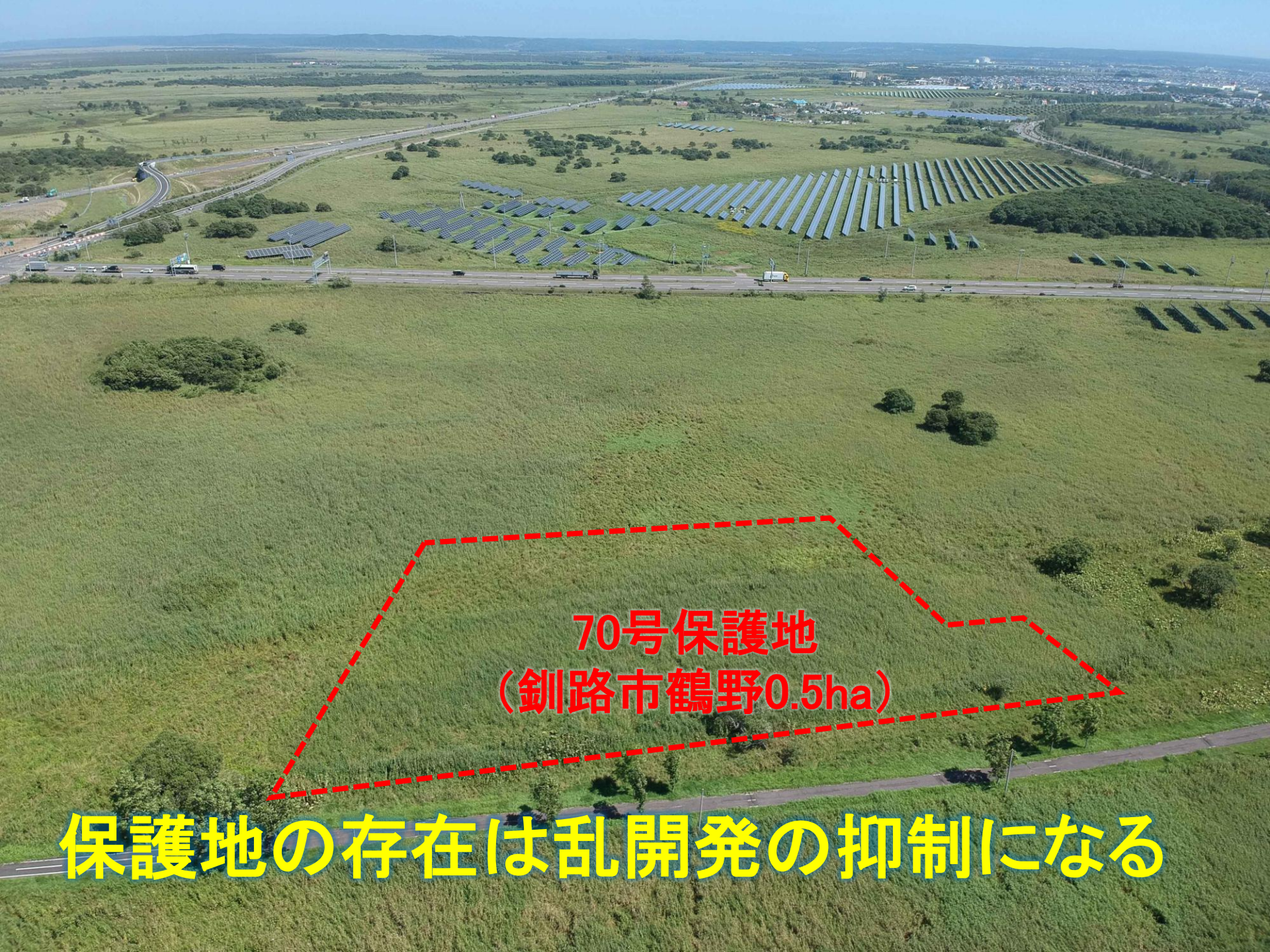
⇒本当にそうなのか??



湿原の価値

- ・希少な動植物の生息場所
- ・湿原の植物が二酸化炭素を吸収し、泥炭として炭素を地中に貯蔵する
- ・大雨の時には貯水池となる巨大なスポンジ
- ・大量の水を含み、気温や湿度の変動を緩和
- ・漁業資源を供給する
- ・自然体験や観光の対象となる



An aerial photograph showing a vast green field. In the background, there are rows of solar panels and a multi-lane road with some vehicles. The foreground is a large, open green area. A red dashed line outlines a specific section of the field in the lower half of the image.

70号保護地
(釧路市鶴野0.5ha)

保護地の存在は乱開発の抑制になる



トラストサルン釧路の本当の願いは
たくさんの土地を持つことではなく

地域の住民、行政、企業が湿原に関心を
持ち、保護のために行動して下さること